



学校だより

5月号(第223号)
令和8年4月30日発行
横浜市立並木中央小学校

地域の力に感謝

校長 齋藤 由美子

今年のつつじの満開は、例年より2週間程、早かったように思います。どこまでも繋がって見える赤、白、ピンクのつつじの道は、並木の季節の風物詩の一つです。4月29日に行われた地域行事である「つつじ祭」には、開会式のご挨拶のみですが、参加させていただきました。日頃から中央小がお世話になっている地域の方々から、何人もお声がけいただき、並木地区のシルバーの方々のパワーとあたたかさを改めて感じたところです。

さて、教員不足に苦悩している本校ですが、地域からは、多くの方々が続々と応援に駆けつけてくださっています。個別支援学級の担任の補助のために、特別支援教育支援員の人材を探してほしいと、さくりんサポーターズをお願いをしたところ、3名の方をご紹介いただきました。また、1年生の給食の補助には、20名のボランティアさんが、毎日代わる代わる教室に入って、準備の声かけや見守り、配膳の補助をしてくださっています。そして、地域の裁縫がお得意な方々が、入学式や卒業式で使う、体育館のステージの演台や花台にかけるカバーを、上から被せるだけで済むようにボックスタイプに縫い直していただきました。あちこちが破れていたピアノのカバーも、布を足して綺麗に仕上げていただきました。学校で手が回らない、気づかない部分にまで、きめ細やかにお力を貸してくださり心より感謝いたします。

中央小には、その他にも、図書ボランティア、読み聞かせボランティア、みまもりかい、野菜づくりボランティアなど、地域の皆様が、多くの場面で、子どもたちを育ててくださっています。『学校は、家庭と地域と一緒にあって、子どもたちの教育に向かっていく。』その言葉が、今、私の胸の中に改めてグーンと響いています。

中央小ライフのページでは、本校でねらっている資質・能力のキーワードを意識してお読みくださると幸いです。

(本校でねらう資質・能力: 主体性・問題解決力・話す力・聞く力・コミュニケーション力)